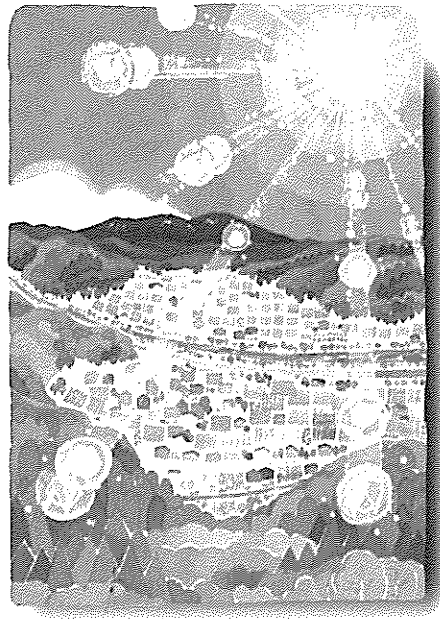


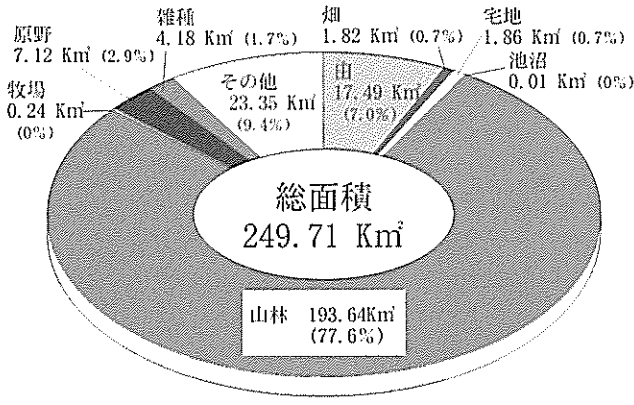
資 料 編



自	然	1
人	口	1
産	業	3
教	育・文化	5
社	会福祉	6
衛	生	7
道	路・橋梁	8
治	安	8
行	・財政	9
愛	別町の略史	11

自然

●土地利用

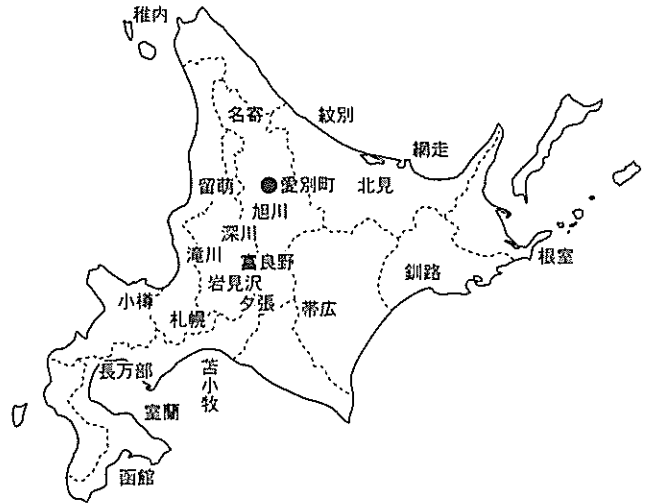


(平成26年1月現在土地に関する概要調査より)

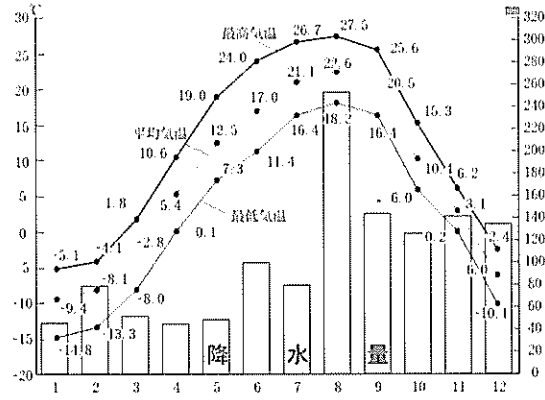
●位置、面積

東経/142° 30' 42" ~ 142° 46' 40"
 北緯/ 43° 49' 30" ~ 44° 01' 36"
 面積/250.13km (H26.10.1 国土地理院による面積調査による面積変動)

愛別町は、北海道のほぼ中央に位置する上川盆地の東北端、大雪山麓にあります。東は上川町、西に比布町、南は当麻町と接し、北は山脈を境にして士別市に接しています。



●気象 (月別平均気温並びに降水量)



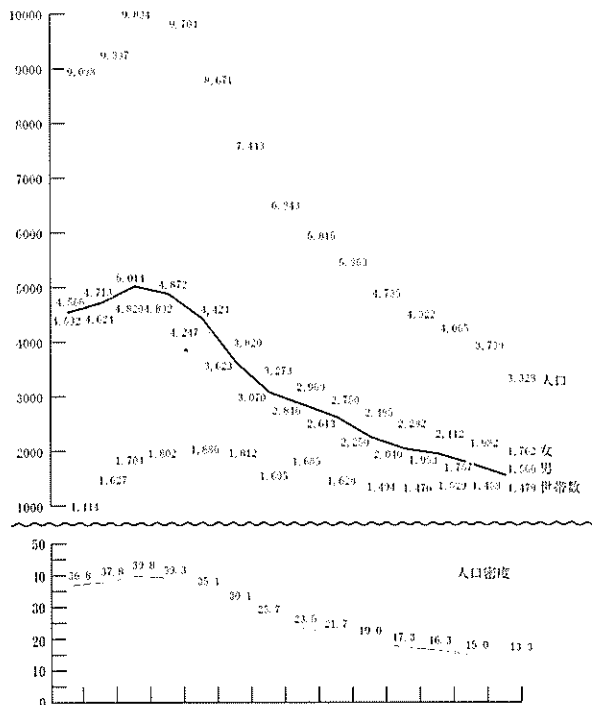
年平均気温 7.2°C (平成24年)

年間降水量 1,251.5mm

(北海道統計書 気象) ※降水量は年計

人口

●人口推移



(国勢調査より)

年	総人口	男	女	世帯数	人口密度
昭和22	9,098	4,532	4,566	1,114	36.8
25	9,337	4,713	4,624	1,627	37.8
30	9,834	5,014	4,820	1,704	39.8
35	9,704	4,872	4,832	1,802	39.3
40	8,671	4,424	4,247	1,886	35.1
45	7,443	3,623	3,820	1,812	30.1
50	6,343	3,070	3,273	1,695	25.7
55	5,815	2,846	2,969	1,685	23.5
60	5,363	2,613	2,750	1,628	21.7
平成2年	4,735	2,250	2,485	1,494	19.0
7	4,322	2,040	2,282	1,476	17.3
12	4,065	1,953	2,112	1,529	16.3
17	3,739	1,757	1,982	1,458	15.0
22	3,328	1,566	1,762	1,479	13.3

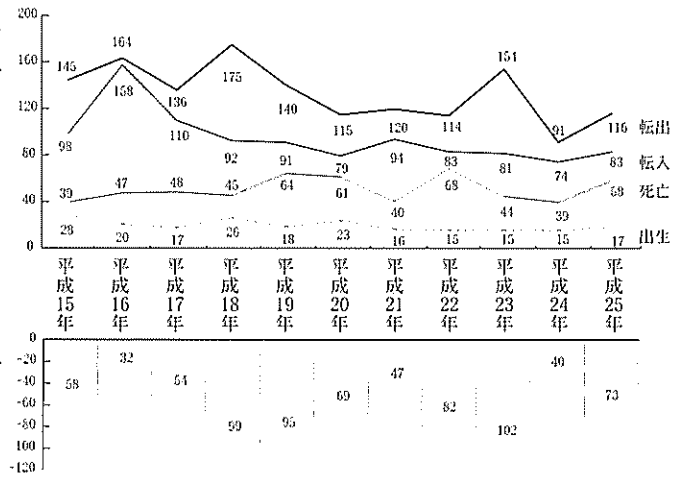
(国勢調査より)

●人口動態

(単位：人)

年次	増減	自然動態		社会動態		職権	
		出生	死亡	転入	転出	その他増	その他減
平成15年	△58	28	39	98	145	-	-
16	△32	20	47	158	164	1	-
17	△54	17	48	110	136	3	-
18	△99	26	45	92	175	3	-
19	△95	18	64	91	140	-	-
20	△69	23	61	79	115	5	-
21	△47	16	40	94	120	3	-
22	△82	15	68	83	114	3	1
23	△102	15	44	81	154	-	-
24	△40	15	39	74	91	1	-
25	△73	17	58	83	116	1	-

(北海道統計書 3人口 5人口動態)

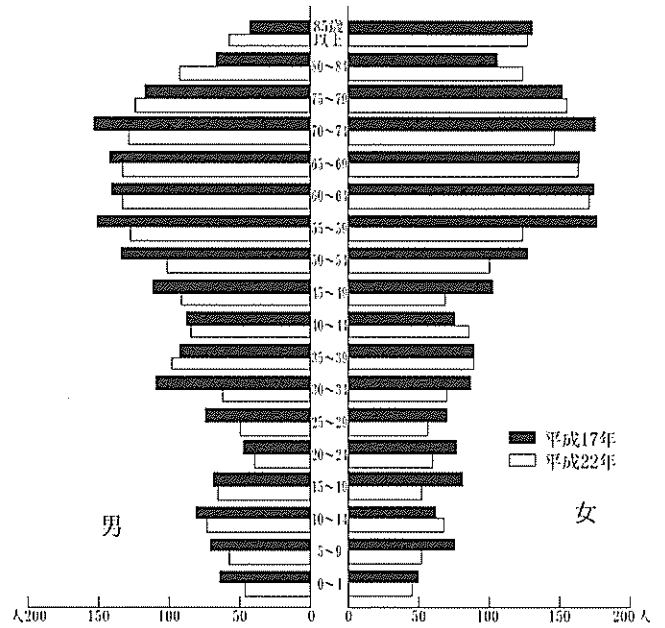


●年令別人口

(単位：人)

年齢	平成17年		平成22年	
	男	女	男	女
0～4	64	50	46	45
5～9	86	76	58	52
10～14	82	62	73	68
15～19	100	81	65	52
20～24	83	77	39	60
25～29	133	70	50	56
30～34	94	87	62	70
35～39	89	89	98	89
40～44	118	76	85	86
45～49	141	103	91	69
50～54	161	128	102	100
55～59	163	177	128	124
60～64	163	175	133	172
65～69	165	165	133	164
70～74	142	176	129	147
75～79	84	153	124	156
80～84	49	106	93	124
85才以上	36	131	57	128
合計	1,953	1,982	1,566	1,762

(国勢調査より)



●産業別15歳以上就業者数

(単位：人・%)

産業	種別	平成17年	平成22年
		総数	1,869
第1次産業	農業	613	486
	林業	21	17
	漁業	-	-
小計		634	503
第2次産業	鉱業	-	5
	建設業	200	138
	製造業	155	123
小計		355	266
第3次産業	電気・ガス	-	2
	運輸・通信業	60	57
	卸売・小売業・飲食	209	171
	金融・保険業	10	8
	不動産業	2	2
	サービス業	495	471
公務		104	105
小計		880	816

(国勢調査より)

▶ 産 業

●農家数の推移

年	農 家 数			農業従事者数	農 業 人 口
	専 業	第1種兼業	第2種兼業		
平成11年	387	148	142	466	1,462
12	378	107	123	397	1,250
17	307	100	105	336	934
22	221	77	51	254	615

(農業基本調査・世界農林業センサスより)

●経営規模別農家数の推移

(単位：戸)

年	農家総数	1ha未満	1～3ha	3～5ha	5～7.5ha	7.5～10ha	10～15ha	15～20ha	20ha以上
平成11年	387	107	71	77	52	43	22	9	6
12	378	105	72	67	54	41	25	8	6
17	307	75	48	56	84		31		13
22	221	66	28	28	48		31		20

(農業基本調査・世界農林業センサスより)

●農用地面積の推移

(単位：ha)

年	総面積	耕 地				採草放牧地
		田	畑	樹園地	計	
平成11年	1,749	1,624	125	-	1,749	-
12	1,724	1,622	102	-	1,724	-
17	1,760	1,639	121	-	1,760	-
22	1,757	1,651	106	-	1,757	-

(農業基本調査・世界農林業センサスより)

●家畜飼養農家数、飼養頭羽数の推移

年	馬		豚		肉用牛		乳用牛		鶏	
	農家数(戸)	頭数(頭)	農家数(戸)	頭数(頭)	農家数(戸)	頭数(頭)	農家数(戸)	頭数(頭)	農家数(戸)	羽数(羽)
平成11年	0	0	6	3,700	6	1,282	4	268	4	66,808
12	1	1	5	3,573	8	1,290	3	255	3	66,800
17	0	0	3	1,984	9	4,639	3	99	2	-
22	0	0	3	2,495	8	4,851	2	-	-	-

(農業基本調査・世界農林業センサスより)

●主要作物作付面積の推移

(単位：ha)

品名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
稲	1,316.96	1,040.87	913.74	989.00
麦類	4.22	14.60	41.04	33.37
雑穀	1.55	14.35	126.58	170.55
いも類	3.06	0.42	1.37	0.63
豆類	19.54	26.14	51.02	50.10
工芸農作物	0.26	2.11	-	17.76
野菜類	32.19	19.44	21.00	28.03
花き類	0.90	0.19	-	0.09
種苗・苗木類	-	0.10	1.10	(その他へ)
飼料用作物	204.50	(その他へ)	(その他へ)	(その他へ)
その他	25.36	175.68	126.33	182.35
合計	1,608.54	1,293.90	1,282.18	1,471.88

(農業基本調査・世界農林業センサスより)

●工業の推移

年	事業所数	従業員数	出荷数
		人	万円
平成14年	13	195	387,433
15	15	218	343,589
16	14	229	322,045
17	14	215	274,993
18	14	172	296,359
19	13	193	231,714
20	13	176	215,320
21	12	170	191,823
22	12	163	198,787
23	-	-	-
24	12	99	58,793
25	14	127	112,298

(工業統計調査より)

●事業所数、従業員数の推移

区分	8年	11年	13年	18年	24年	
農林水産業	事業所数	9	6	5	3	31
	従業員数(人)	83	44	77	17	292
鉱業	事業所数	-	-	-	-	-
	従業員数(人)	-	-	-	-	-
建設業	事業所数	21	20	18	15	15
	従業員数(人)	292	271	288	181	130
製造業	事業所数	16	15	17	13	12
	従業員数(人)	309	253	280	217	181
卸売・小売業	事業所数	65	64	66	42	47
	従業員数(人)	208	186	208	137	175
金融・保険業	事業所数	1	1	2	1	3
	従業員数(人)	6	5	7	4	79
不動産業	事業所数	2	1	1	-	-
	従業員数(人)	2	1	1	-	-
運輸・通信業	事業所数	11	7	7	5	4
	従業員数(人)	95	61	59	39	35
電気・ガス・水道熱供給業	事業所数	1	-	-	-	1
	従業員数(人)	6	-	-	-	3
サービス業	事業所数	81	59	59	65	46
	従業員数(人)	515	350	378	458	268
公務	事業所数	7	調査項目なし	-	-	-
	従業員数(人)	92	-	-	-	-
合計	事業所数	214	173	175	144	159
	従業員数(人)	1,608	1,171	1,298	1,053	1,163

(事業所企業統計調査より)

●商業の推移

年	商店数	従業員数	年間販売額
		人	万円
昭和60年	74	217	441,230
63	67	192	384,700
平成3年	59	192	398,516
6	53	168	385,818
9	46	232	914,734
11	52	135	319,932
14	52	179	367,241
19	42	128	305,450
24	30	107	317,000

(商業統計調査より)

▶ 教育・文化

●児童生徒数の推移

(単位：人)

年	愛別小学校			愛山小学校			中里小学校			協和小学校			愛別中学校			愛別高等学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成22年	76	69	145	閉校						48	40	88	11	11	22			
23	67	65	132							43	38	81						
24	68	63	131							43	36	79						
25	67	63	130							39	31	70						
26	67	67	134							35	31	66						

(学校基本調査より)

●社会教育・体育施設の現況

施設名	建設年度	面積 (㎡)	所在地
愛別町総合センター	昭和46年	1,633.74	本町345番地1
中里母と子憩の家	昭和51年	324.00	中央340番地
愛別地区農業研修センター	昭和52年	421.20	東町1445番地2
伏古生活改善センター	昭和54年	159.57	伏古206番地12
愛山公民館	昭和54年	442.26	愛山492番地5
南町青少年会館	昭和55年	160.78	南町494番地22
愛山地区コミュニティセンター	昭和58年	335.34	愛山1061番地7
金富公民館	昭和60年	405.00	金富378番地5
北町公園テニスマ場	昭和60年	2,339.00	北町393番地
北町公園ゲートボール場	昭和60年	1,480.00	北町393番地
あいべつファミリーズキー場	昭和62年	45,327.00	北町326番地
愛別海洋センター体育館	昭和63年	1,715.91	北町298番地11
愛別海洋センタープール	昭和63年	875.07	北町298番地11
愛別町農村環境改善センター	昭和63年	1,199.38	北町300番地
あいべつ球場	平成元年	29,553.73	北町306番地1
山村広場	平成2年	17,948.60	北町306番地2
宿泊研修施設「サンライズ」	平成3年	1,184.11	北町300番地3
石狩川親水緑地公園	平成4年	58,271.00	石狩川河川敷
トレーニングセンター	平成5年	291.90	北町300番地

社会福祉

●国民年金被保険者の推移

(単位：人)

年	被保険者数	1号被保険者	3号被保険者	任意加入	保険料免除者
平成22年	697	525	172	23	136
23	631	465	166	19	124
24	642	493	149	17	143
25	601	458	143	15	137
26					

(税町民課調より)

●国民健康保険加入給付状況の推移

年	被保険者 世帯数	被保険者数	加入率		療養給付費		1人当たり 医療費
			世帯	人員	件数	費用額	
	世帯	人	%	%	件	千円	円
平成22年	644	1,208	43.9	36.1	19,654	396,738	328,425
23	640	1,163	43.3	35.2	19,417	306,037	263,144
24	632	1,156	42.4	35.4	19,119	288,919	263,612
25	608	1,096	40.9	34.3	18,648	288,054	262,823
26							

(税町民課調より)

●老人保健保険加入給付状況の推移

年	被保険者数	医療給付費		1人当たり 医療費
		件数	給付額	
	人	件	千円	円
平成19年	662	19,048	516,715	780,536
20	662	1,798	38,554	58,239
21	—	—	—	—
22	—	—	—	—
23	—	—	—	—

※20年は、1ヶ月分の数値である。

(税町民課調より)

衛生

●ごみ収集量の推移

(単位：人・t)

年	処理人口	年 間 総排出量	年 間 直搬入量	年 間 総収集量
平成21年	3,482	1,006	449	557
22年	3,379	1,305	723	582
23年	3,337	1,187	625	562
24年	3,264	1,309	733	576
25年	3,195	1,406	813	593

(税町民調より)

●し尿収集量の推移

(単位：人・kg)

年	処理人口	年 間 総排出量	年 間 総収集量
平成21年	1,558	1,232	516
22	1,502	1,233	488
23	1,512	1,243	476
24	1,494	1,169	463
25	1,486	1,174	486

(税町民調より)

●上水道の現況

(H26.3.31現在)

区 分	愛別浄水場
区 域 内 人 口	3,139人
計 画 給 水 人 口	3,780人
給 水 人 口	2,709人
1 日 平 均 給 水 量	1,063m ³
1 日 最 大 給 水 量	1,413m ³
1 人 1 日 平 均 給 水 量	392ℓ
1 人 1 日 最 大 給 水 量	521ℓ

(建設課調より)

●下水道計画の概要

(H12.9.1供用開始)

区 分		許 可 区 域
計 画 年 次		昭和54年～平成31年
処 理 区 域 面 積		121ha
排 除 方 式		分流式
処 理 人 口		2,400人
1 日 最 大 計 画 汚 水 量		1,394m ³
1 日 平 均 計 画 汚 水 量		1,106m ³
1 人 最 大 汚 水 量		460ℓ
1 人 平 均 汚 水 量		340ℓ
処 理 施 設	処 理 方 法	オキシデーションディッチ法
	処 理 能 力 (最 大)	1,600m ³ /日
	” (平 均)	1,200m ³ /日
	ポ ン プ 場	2 か 所
	処 理 場	1 か 所

(建設課調より)

▶ 道路・橋梁

●町内道路の現況

(H26.3.31 現在)

区 分	路線数	実延長	現 況 別			路 面 別		
			改 良 済	未 改 良	改 良 率	舗 装 道	未 舗 装	舗 装 率
		km	km	km	%	km	km	%
主 要 道 路	2	21.8	21.8	—	100.0	21.8	—	100.0
一 般 道 道	4	8.8	7.3	1.5	83.0	7.3	1.5	83.0
町 道	360	250.8	77.9	172.9	31.1	69.3	181.5	27.6
国 道	2	31.8	31.8	—	100.0	31.8	—	100.0
計	368	313.2	138.8	174.4	44.3	130.2	183.0	41.5

(道路現況調査より)

●町道整備状況の推移

年	実延長	改 良 済		舗 装 済	
		延 長	改 良 率	延 長	舗 装 率
	km	km	%	km	%
平成21年	250.8	76.4	30.5	69.0	27.5
22	251.0	76.8	30.6	69.3	27.6
23	250.8	77.9	31.1	69.2	27.6
24	250.8	77.9	31.1	69.3	27.6
25	250.8	77.9	31.1	69.3	27.6

(道路現況調査より)

●橋梁の推移

年	木 橋		混 合 橋		永 久 橋	
	橋梁数	延 長	橋梁数	延 長	橋梁数	延 長
		m		m		m
平成21年	—	—	—	—	71	1,561
22	—	—	—	—	71	1,561
23	—	—	—	—	70	1,555
24	—	—	—	—	68	1,522
25	—	—	—	—	68	1,522

(市町村行政の概要より)

▶ 治 安

●交通事故発生状況の推移

年	発生件数	死者数	傷者数
	件	人	人
平成22年	7	0	11
23	5	0	8
24	6	1	5
25	6	0	12
26	6	1	7

(総務企画課調より)

●火災発生の推移

年	発生件数
	件
平成21年	2
22	2
23	3
24	3
25	6

(消防愛別支署調より)

●救急車搬送件数の推移

年	発生件数	搬送人数
	件	人
平成21年	184	174
22	158	160
23	169	163
24	181	176
25	165	159

(消防愛別支署調より)

行・財政

●町財政の推移（一般会計）

科 目	平成 23 年 度		平成 24 年 度		平成 25 年 度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
	千円	%	千円	%	千円	%
町 税	277,878	7.5	274,524	7.8	276,535	7.9
地 方 譲 与 税	76,719	2.1	71,740	2.0	68,179	2.0
利 子 割 交 付 金	797	0.0	665	0.0	676	0.0
配 当 割 交 付 金	268	0.0	286	0.0	588	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	70	0.0	79.0	0.0	803	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	33,304	0.9	32,510	0.9	32,235	0.9
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	4,649	0.1	4,582	0.1	4,649	0.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	13,048	0.4	15,588	0.4	17,736	0.5
地 方 特 例 交 付 税	8,021	0.2	628	0.0	488	0.0
地 方 交 付 税	2,123,812	57.2	2,153,668	61.3	2,109,271	60.3
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	562	0.0	547	0.0	486	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	11,175	0.3	7,866	0.2	7,449	0.2
使 用 料 及 び 手 数 料	184,545	5.0	182,276	5.2	172,626	4.9
国 庫 支 出 金	305,633	8.2	253,383	7.2	247,903	7.1
道 支 出 金	134,107	3.6	110,433	3.1	111,164	3.2
財 産 収 入	10,229	0.3	11,667	0.3	21,882	0.6
寄 附 金	1,523	0.0	3,465	0.1	1,190	0.0
繰 入 金	102,015	2.7	1,990	0.1	2,953	0.1
繰 越 金	60,725	1.6	42,708	1.2	68,395	2.0
諸 収 入	68,848	1.9	39,905	1.1	80,578	2.3
町 債	297,040	8.0	302,896	8.6	271,757	7.8
歳 入 合 計	3,714,968	100.0	3,511,406	100.0	3,497,543	100.0
議 会 費	44,015	1.2	37,311	1.1	36,256	1.1
総 務 費	500,216	14.1	495,247	14.6	225,888	7.1
民 生 費	545,371	15.4	505,644	14.9	532,308	16.7
衛 生 費	492,889	13.9	418,866	12.4	388,328	12.2
労 働 費	2,337	0.1	30	0.0	25	0.0
農 林 水 産 業 費	148,961	4.2	124,106	3.7	104,188	3.3
商 工 費	46,892	1.3	48,550	1.4	50,370	1.6
土 木 費	310,979	8.8	464,513	13.7	532,418	16.7
消 防 費	137,741	3.9	153,942	4.5	182,060	5.7
教 育 費	271,348	7.6	131,301	3.9	148,327	4.7
災 害 復 旧 費	13,779	0.4	130	0.0	2,003	0.1
公 債 費	514,519	14.5	475,446	14.0	454,199	14.3
職 員 給 与 費	518,213	14.6	534,925	15.8	524,912	16.5
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	3,547,260	100.0	3,390,011	100.0	3,181,282	100.0

(決算状況調より)

●平成26年度各会計当初予算状況

一 般 会 計	3,562,000千円
水 道 会 計	359,720千円
国民健康保険特別会計	488,687千円
老人保健特別会計	0千円
後期高齢者医療	52,285千円
介護保険特別会計	451,169千円
公共下水道事業特別会計	160,146千円
合 計	5,074,007千円

●平成26年度一般会計歳入歳出予算科目別内訳

(歳入)		(単位：千円)
款	項	金額
1.町税		262,080
	1.町民税	104,972
	2.固定資産税	125,350
	3.軽自動車税	6,581
	4.町たばこ税	24,577
	5.入湯税	600
2.地方譲与税		68,000
	1.自動車重量譲与税	20,000
	2.地方揮発油譲与税	48,000
3.利子割交付金		600
	1.利子割交付金	600
4.配当割交付金		200
	1.配当割交付金	200
5.株式等譲渡所得割金		70
	1.株式等譲渡所得割金	70
6.地方消費税交付金		32,000
	1.地方消費税交付金	32,000
7.ゴルフ場利用税金		4,000
	1.ゴルフ場利用税金	4,000
8.自動車取得税金		9,000
	1.自動車取得税金	9,000
9.地方特例交付金		400
	1.地方特例交付金	400
10.地方交付税		1,918,000
	1.地方交付税	1,918,000
11.交通安全対策特別交付金		500
	1.交通安全対策特別交付金	500
12.分担金及び負担金		7,079
	1.負担金	7,079
13.使用料及び手数料		182,073
	1.使用料	176,410
	2.手数料	5,663
14.国庫支出金		177,923
	1.国庫負担金	92,099
	2.国庫補助金	77,008
	3.委託金	8,816
15.道支出金		125,272
	1.道負担金	64,749
	2.道補助金	48,593
	3.委託金	11,930
16.財産収入		11,801
	1.財産運用収入	11,797
	2.財産売却収入	4
17.寄附金		702
	1.寄附金	702
18.繰入金		334,784
	1.基金繰入金	334,730
	2.特別会計繰入金	54
19.繰越金		20,000
	1.繰越金	20,000
20.諸収入		39,516
	1.延滞金加算金及び過料	20
	2.町預金利子	300
	3.貸付金元利収入	22,005
	4.受託事業収入	715
	5.雑収入	16,476
21.町債		368,000
	1.町債	368,000
歳入合計		3,562,000

(歳出)		(単位：千円)
款	項	金額
1.議会費		37,005
	1.議会費	37,005
2.総務費		259,389
	1.総務管理費	232,479
	2.徴税費	10,179
	3.戸籍住民基本台帳費	9,920
	4.選挙費	4,566
	5.統計調査費	1,013
	6.監査委員費	1,232
3.民生費		478,250
	1.社会福祉費	400,890
	2.児童福祉費	77,360
4.衛生費		412,199
	1.保健衛生費	293,816
	2.清掃費	118,383
5.労働費		25
	1.労働諸費	25
6.農林水産業費		197,040
	1.農業費	194,529
	2.林業費	2,511
7.商工費		54,534
	1.商工費	54,534
8.土木費		676,199
	1.土木管理費	4,633
	2.道路橋梁費	200,536
	3.河川費	12,555
	4.都市計画費	106,237
	5.住宅費	352,238
9.消防費		261,088
	1.消防費	261,088
10.教育費		196,062
	1.教育総務費	18,426
	2.小学校費	77,260
	3.中学校費	27,921
	4.幼稚園費	16,087
	5.学童保育費	3,375
	6.社会教育費	22,283
	7.保健体育費	24,710
11.災害復旧費		5
	1.公共土木施設費	5
12.公債費		444,890
	1.公債費	444,890
13.職員給与費		540,314
	1.職員給与費	540,314
14.予備費		5,000
	1.予備費	5,000
歳出合計		3,562,000

愛別町の略史

1798	寛政10年	幕府勘定吟味役三橋藤右衛門石狩川上流を探検する。	1912	明治45年	大吹雪のため1週間交通杜絶。 台風のため工事中の下愛別小学校倒壊。
1808	文化4年	幕府勘定役近藤重蔵石狩川上流を探検する。	1913	大正2年	中愛別産業組合設立。
1873	明治6年	開拓史履教師ワスソン、五等出仕荒井郁之助等測量隊の一行、アイベツ川口に達した。	1914	大正3年	愛別小学校中愛別15線北3番地に位置変更認可となる。
1882	明治15年	福土成豊、愛別川口に標柱を建てる。	1915	大正4年	公立消防組設置。
1887	明治20年	福原鉄之輔、上川原野植民地選定開始（愛別原野を含む）	1916	大正5年	森谷千仭村長（四代）となる。
1890	明治23年	上川郡内に旭川、神居、永山の三村設置。	1917	大正6年	愛別産業組合設立。 開村20周年祝賀式挙行。
1892	明治25年	永山村を割き鷹栖村（母村）設置、当時愛別は永山村戸長役場の所轄に属する。また神楽村を置く。	1919	大正8年	食糧事務所設置される。 狩布拓殖道路完成する。
1894	明治27年	愛別原野植民地区画決定、貸付開始される。	1921	大正10年	水野豊次郎村長（五代）となる。 電話が架設開通する。
1895	明治28年	金富農場に70戸（和歌山県）伊香牛55戸（岐阜県）中愛別50戸（愛知団体）移住する。	1922	大正11年	安足間、中愛別巡査駐在所設置。 石北線新旭川～愛別間開通。
1896	明治29年	伏古に山形県人2戸移住する。	1923	大正12年	石北線上川駅まで開通（中愛別・安足間駅開業）
1897	明治30年	アンタロマに長谷農場20戸（富山県）松尾農場14戸（山形県）、また愛知団体十数戸移住する。鷹栖村及び永山村を割き愛別村設置、五線公有地に戸長役場を新設開庁、初代戸長七条元次就任。	1924	大正13年	原多市村長（六代）となる。 愛山以東を分割、上川村を分村する。
1898	明治31年	愛別尋常小学校開校（中愛別） 戸籍法実施により戸籍役場を設置する。	1925	大正14年	愛別発電所竣工する。 安足間郵便局開設される。
1899	明治32年	愛別郵便局開設。 下愛別小学校、伊香牛小学校同時開校される。 草浦耕蔵愛別戸長（二代）を命ぜられる。 愛別巡査駐在所設置。 営林署愛別森林保護区員駐在所開設。	1926	大正15年	下愛別産業組合組織される。
1900	明治33年	越路簡易教育所、アンタロマ簡易教育所を開設。	1927	昭和2年	安足間発電所送電開始。
1901	明治34年	伏古簡易教育所を設置する。 ヨーコシナイに24戸（美濃団体）移民。 マクンベツ教育所を設置する。	1930	昭和5年	愛別神社社に列す。
1902	明治35年	ルベンベ簡易教育所を設置する。	1931	昭和6年	中愛別郵便局開設。
1904	明治37年	伏古へ17戸移住する。	1932	昭和7年	徳星鉱山開鉱。 役場庁舎、議事堂改築する。
1906	明治39年	二級町村制を施行、和井内喜之（初代）村長となる。 第1回村議会議員選挙を執行。 村会議事堂の新設。	1933	昭和8年	愛別橋改修工事行われる。
1907	明治40年	宇ヨーコシナイ、比布村から村界を変更して愛別村に編入される。 松塚容央村長となる。（二代） 松本農場開設される（新潟団体7戸、福島団体5戸入植する）	1934	昭和9年	愛別村章制定。
1908	明治41年	狩布教育所開設する。	1935	昭和10年	徳星鉱山本格的に操業する。
1909	明治42年	逓信省水力調査局測量班滞在（1～2年）して石狩川本支流の河川を測量する。	1937	昭和12年	一級町村制施行。 村内一組合とした愛別村産業組合が発足する。
1910	明治43年	太田竜太郎村長（三代）となる。	1938	昭和13年	中愛別土功組合、安足間土功組合が合併、愛別土功組合設立。 協和松本農場を開放、全耕作者自作農となる。
1911	明治44年	下愛別市街地大火。	1939	昭和14年	上伏古郵便局開設される。
			1940	昭和15年	村内の字名を改正する。
			1941	昭和16年	町内会、部落会連合会を結成する。 堀家万太郎村長（七代）となる。
			1942	昭和17年	旭川厚生病院愛別診療所開始。
			1943	昭和18年	徳星鉱山廃鉱となる。 忠霊塔完成する。
			1944	昭和19年	水銀鉱山本格的に操業する。
			1945	昭和20年	水銀鉱山廃鉱となる。
			1946	昭和21年	森畑森太郎村長（八代）となる。
			1947	昭和22年	道北バス、協和線開通する。
			1948	昭和23年	愛別村農業協同組合を設立。 農業共済組合を設立。
			1949	昭和24年	第1回成人式を行う。

		愛別中学校愛山中学校の建築工事始まる。			ライスセンター 543平方メートル。本町六町内にスピードドライ式、2万トン処理の籾乾燥調整施設が完成する。
1950	昭和25年	比布・愛別間道路が準地方費道の昇格。			
1951	昭和26年	愛別村ラジオ文化協会発足。 愛別土功組が愛別土地改良区となる。	1969	昭和44年	初場所で宇旭山出身の旭国武雄力士の十両入りが決定、1月30日晴れの郷土入り、2日には旭国関十両昇進祝賀会を行った。
1952	昭和27年	愛別村教育委員会を設置。			奥村時要町長に当選（三代）
1953	昭和28年	農業労務者がこの年から来村する。			地区子ども会が設立される。
1954	昭和29年	台風15号来襲により学校その他全半壊100戸を数え被害甚大。 開基60年記念行事行う。	1970	昭和45年	愛別町金富に第一林業株式会社愛別工場設置。7月31日から8月1日の豪雨で総額284,262千円の被害があった。
1955	昭和30年	前仏豊作村長となる（九代） 広報「あいべつ」を発刊する。 直営診療所愛山支所竣工。			岐阜獅子舞が北海道代表として山形市への東北北海道郷土民俗芸能大会に参加した。
1956	昭和31年	共同聴取施設が町営となる。	1971	昭和46年	郷土芸能岐阜獅子舞が町無形文化財に指定。総合センター竣工。
1957	昭和32年	旭山辺地集会所85坪（280.5平方メートル）竣工。			愛別有機肥料第一工場設置、操業開始。
1958	昭和33年	土木機械ブルドーザーを購入する。	1972	昭和47年	愛別地区道営圃場整備事業、道営かんばい事業起工式を行う。
1959	昭和34年	ボーイスカウト愛別隊発足する。 愛別、朝日道路8年目に開通。			オーツクボール愛別が39号線にオープンする。
1960	昭和35年	軌道客土起工する。 石狩川頭首工完成する。 愛別村公民館竣工。	1973	昭和48年	社会福祉協議会、愛情銀行を発足。 愛別土地開発公社発足する。
1961	昭和36年	町制が施行され愛別町となる。 前仏豊作初代町長となる。			四町共同廃芥処理場、富沢衛生センターが完工し、11月から操業開始。
1962	昭和37年	ラジオ共同聴取廃止される。	1974	昭和49年	総合センター内に上川中部消防組合愛別支署が事務所をおく。
1963	昭和38年	第1回町長、町議会議員選挙。 旭山地区パイロット事業着工。 旭山、協和、中里、愛別の4中学校統合する。 国道39号線の変更新国道開通する。			愛別町開基80周年記念式典を実施、愛の鐘が役場屋上に設置される。
1964	昭和39年	役場新庁舎鉄筋コンクリート3階建、1,207.2平方メートル落成。 愛別町民憲章を制定。			11月初めに雪で約30ヘクタールの水田の稲が倒伏、雪の下になった。自衛隊に援農を依頼するなど延べ3,000人の援農で稲刈りを終った。
1965	昭和40年	愛別劇場（安住一雄経営）営業をやめる。 季節保育所として中里保育所が開所。 開基70周年記念奉告祭並びに祝賀式典を行う。 旭川国際カントリークラブ愛別コースオープン。 愛別郵便局舎が南町に新築。	1975	昭和50年	愛山、愛別地区簡易水道工事完成。
			1976	昭和51年	中里母と子憩の家竣工。 旭山出身の旭国関が大関に昇進。 大関旭国関の祝賀パレード 新愛別駅舎完成。
1966	昭和41年	第一次農業構造改善事業畜産センター着工、同年完成する。 旭川警察署愛別巡査部長派出所が国道39号線前に新築移転業務を開始した。 役場野球チームが国体予選で優勝、第21回大分国体に北海道代表として出場した。 大雪浄化センターが完工式を行い本格操業開始。	1977	昭和52年	旭川営林署愛別合同担当区事務所竣工。 中愛別地区愛山局がダイヤル化され、町内の電話は全部ダイヤル化。
1967	昭和42年	教育目標、学校教育目標、社会教育目標を設定した。 農村集団電話、本町、協和、富沢、豊里四まで450戸に設置される。 中山松雄町長当選（二代） 愛別中学校が新校舎に移転。 愛別中学校の旧校舎に愛別高校が移転する。 この年は豊作であった。	1978	昭和53年	愛別地区ミニライスセンター、えのき茸集出荷施設の建設落成。 青色申告と完納の町の宣言を議会で決定。 昭和44年着工以来10カ年の歳月を経て道営圃場整備事業四地区、道営かんがい事業1地区、道営老朽溜池事業1地区、総事業費39億6,000万円が道営土地改良事業が竣工した。
1968	昭和43年	道営事業促進のため愛別土地改良総合事務所を開設。 厚生診療所を民間委託、斉藤一次医師を招へいして愛別病院を開設した。	1979	昭和54年	中里小学校体育館落成祝賀会実施。 愛山小学校校舎、体育館改築する。 愛別高校新校舎（管理棟普通教室）並に第二グラウンド竣工。 町教研で小学校社会科副読本「あいべつ」を発刊する。
			1980	昭和55年	宇名一部改正。 愛別小学校改築工事が竣工。 愛別高等学校が北海道に移管。 愛別中学校に交通安全記念塔を建立。

1981	昭和56年	愛別中学校格技場の落成式を行う。 地籍調査事業をはじめめる。 老人福祉センター竣工。 協和郵便局の郵便区愛別局に統合。	1990	平成2年	町の機関が4月から第2・4土曜日の閉庁を実施 ふるさと創生基金で小型飛行機購入 航空協会発足 公共下水道一部供用開始 滋賀県愛東町より「アドベンチャー北海道」と銘打った研修団が来町。 水と緑のまつりが初めて開かれる。 協和小学校新築。 山村広場完成。
1982	昭和57年	愛別火葬場竣工。 旭山小学校廃校。 株式会社旭愛が金富にコンクリート製品工場新設。 愛別ダム本格着工 町社会福祉協議会が法人組織となる。	1991	平成3年	出生祝金制度始まる。 忠霊塔が北町スポーツ公園内に移転。 あいべつ球場オープン。 天皇賜杯全日本軟式野球大会のサブ球場にあいべつ球場が選ばれ熱戦が繰り広げられる。 町制施行30周年記念講演会開催。 宿泊研修施設、研修館「サンライズ」完成。
1983	昭和58年	安足間駅、中愛別駅が無人化となり停留所となる。 教育委員会で「愛別町の教育に関する目標」を設定した。 10月6～7日に旭川地方気象台始まって以来の早い初雪に稲が倒伏、冷害対策本部設置。 愛別ダム定礎式。	1992	平成4年	愛別町リバーフロント計画概要が発表 愛別町ライオンズクラブチャーターナイト15周年記念式典行われる。 交通事故死亡者ゼロ500日で町交通安全推進協議会が表彰される。 学校週5日制が実施され、毎月第2土曜日が休日となる。 愛別町農協さのこ集出荷施設が完成 愛山警察官駐在所が25年ぶりに新築移転し業務開始 「米等主要農畜産物自給確保の町宣言」を町議会が議決する。
1984	昭和59年	道北バス愛別～協和線の廃止に伴い、町営バスが運行される。 さのこ生産組合連合会が設立10周年を迎える。 雪どけが遅れた年ではあったが、8月中に稲刈りが始まり大豊作であった。 町開基90周年記念式典を実施する。	1993	平成5年	スパイクタイヤ使用禁止となる。 愛別町開基100周年記念シンボルマーク・シンボルテーマが決定する。 旭川地方法務局愛別出張所が廃止となる。 愛別神社社務所が新築落成する。 役場の執務が週休2日制となる。 中井延也氏により愛山公民館で青空彫刻教室が開かれる。 石狩川親水緑地公園がオープン 米の作況が著しい不良となり、戦後3番目の凶作となる。 戸籍除籍簿がマイクロフィルム化される。 高規格道路旭川紋別自動車道旭川・愛別道路着工する。
1985	昭和60年	スポーツ公園にテニスコート、ゲートボールコートが完成。 金富公民館完成。 愛別町史第2巻発刊 久米敏町長当選（四代）	1987	昭和62年	第1回さのこの里フェスティバル開催（入場者約6,000人） ダイコク愛別飛行場完成。 町ファミリースキー場にリフト設置される。 交通事故死ゼロ700日達成。
1986	昭和61年	愛別除雪ステーション（上現）完成。 町立愛別診療所完成。 愛別ダム完成（狩布湖） 本町導水路雨渠に伴い、ふれあい通りが完成（ジャンボ道路）。	1988	昭和63年	J R 北海道中愛別、安足間駅舎新築 B & G 愛別海洋センター完成 愛別海洋クラブ発足 農村環境改善センター完成 さのこ総合研究所完成
1987	昭和62年	第1回さのこの里フェスティバル開催（入場者約6,000人） ダイコク愛別飛行場完成。 町ファミリースキー場にリフト設置される。 交通事故死ゼロ700日達成。	1989	平成元年	愛別郵便局舎新築 あいべつこのこの里フェスティバルが「北海道まちづくり100選」に選ばれる。 愛別町農業共済組合が合併により上川中央農業共済組合となる。 「はまなす国体スポーツ100選」に本町の雪中ソフトボールが選ばれる。 愛別町農業協同組合協和支所が廃止となる。 愛別町4Hクラブ20周年記念式典が行われる。 愛別町商工会婦人部20周年記念式典が行われる。 中井延也氏（多摩美術大学教授）の石の彫刻を購入する。
1988	昭和63年	J R 北海道中愛別、安足間駅舎新築 B & G 愛別海洋センター完成 愛別海洋クラブ発足 農村環境改善センター完成 さのこ総合研究所完成	1994	平成6年	町立中里保育所が閉所される。 愛別大谷学園（愛別幼稚園）が閉園される。 愛別町立愛別幼稚園が開園される。 愛別町役場庁舎増改築工事完了する。 愛別町100周年記念史が発刊 愛のまちサミットが愛別町で行われる。 町開基100年を迎え、各種記念事業が行われる。 愛別町さのこ生産組合連合会20周年記念式典行われる。
1989	平成元年	愛別郵便局舎新築 あいべつこのこの里フェスティバルが「北海道まちづくり100選」に選ばれる。 愛別町農業共済組合が合併により上川中央農業共済組合となる。 「はまなす国体スポーツ100選」に本町の雪中ソフトボールが選ばれる。 愛別町農業協同組合協和支所が廃止となる。 愛別町4Hクラブ20周年記念式典が行われる。 愛別町商工会婦人部20周年記念式典が行われる。 中井延也氏（多摩美術大学教授）の石の彫刻を購入する。	1995	平成7年	小春トンネル貫通式が行われる。 伏古開拓100周年記念式典が行われる。

		B & G スポーツ北海道大会B & G 愛別海洋センターに於いて行われる。 道々下川愛別線於鬼頭トンネル完成。 豊里・愛別間の豊愛橋着工。			作。
1996	平成8年	高齢者生活福祉センターオープン。 YOSAKOIソーラン嵐舞あいべつ結成。 第10回きのこの里フェスティバル開催(入場者1万人) 愛別小学校体育館新築。	2002	平成14年	「ひがしの閉地」分譲開始。 身体障害者福祉協会創立50周年。 あいべつ農業振興センター設置。 市町村合併に関する地区説明懇談会開催。
1997	平成9年	きのこの里あいべつオートキャンプ場オープン。 愛別町高齢者事業団設立。 江潤昇一町長当選(五代) 愛別町きのこ生産組合連合会青年部20周年記念式典行われる。 愛別町ライオンズクラブチャーターナイト20周年記念式典行われる。 愛別商工会青年部30周年記念式典行われる。 農村公園オープン。 中里小学校開校100周年記念式典行われる。 '97ツール・ド・北海道国際大会(第1ステージ旭川-愛別-紋別)スタート地点となる。 愛別中学校開校50年式典行われる。 堆肥製造施設完成。	2003	平成15年	あいべつリバーフロントパーク内に「きのこの里パークゴルフ場」オープン。 特別養護老人ホーム「いこいの里「あい」開設。 協和小学校カレンダー製作30周年。 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「愛別IC」開通。 第48回全日本柔剣道優勝大会で優勝。 あいべつ球場が町民の手で模様替えをして13年ぶりによみがえる。 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「愛山上川IC」開通。 協和地区開基・開校100年。
1998	平成10年	愛別蓬萊太鼓愛好会発足10周年記念式典行われる。 (新)富沢衛生センター・小動物焼却施設供用開始。 協和小手作り版画カレンダー25年目。 あいちゃんマンアトバルーンが商工青年部より町へ贈られる。 宇愛別に郷土芸能伝承館完成。 商工婦人部設立30周年。 愛別小学校開校100周年記念式典行われる。	2004	平成16年	飛鳥保育所閉所し半世紀の歴史に終止符。 愛別川に「さけ」を遡上させようと、稚魚の放流。 38年ぶりとなる3つどもえの町長選で矢野直行氏当選(六代)。 「まちづくり出前講座」がスタート。 石狩川愛別頭首工完成。 愛別小学校開校90周年を記念して「あずま屋」のかやぶき屋根補修。 親水緑地公園パークゴルフ場オープン。 旭川層雲峡自転車線「旭川～愛別間」26.5km開通。 第54回全国青年大会「軟式野球の部」へ初出場。
1999	平成11年	リサイクルセンター供用開始。 さくら保育所改築。 松声会設立40周年記念発表会開かれる。 愛別高等学校創立50周年記念式典行われる。	2005	平成17年	愛別中学校校舎等改修工事完了。 愛別ライオンズクラブのCN30周年記念事業として交通安全指導車を寄贈。 愛別中学校開校60周年を記念して環境整備をおこない門柱を設置。 石北4商工会広域連携協議会を設立。 道道下川愛別線の一部区間路線変更。 愛別松声会設立50周年記念民謡発表会開催。 中里小学校開校110周年式典の実施。 愛別舞茸センター完成。 協和の里のもち工房「愛ふくふく」完成。 裁判員制度が開始される。
2000	平成12年	石蔵改修「歳KURARAら」オープン。 中心市街地街路灯整備。 豊愛橋開通。 特別養護老人ホームの建設に着手。 愛山小学校開校100周年記念式典行われる。 第21回全日本自治体職員野球選手権全国優勝大会のサブ球場にあいべつ球場が選ばれる。 高松宮賜杯第44回全日本軟式野球大会北海道大会開かれる。	2006	平成18年	愛別町米麦生産振興協議会が転入者にお米「愛一杯」をプレゼント。 福祉有償運送事業がスタート。 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「愛山上川IC～上川天幕IC」開通。
2001	平成13年	ごみのポイ捨て防止条例制定される。 愛別の地酒復活「ふしこ」新酒披露される。 江潤昇一町長無投票当選により再選。 愛別レーシングカートコースがオープン。 「こどもの日全国少年野球教室」が元プロ野球選手の指導で開催。 小春トンネル開通。 移動図書館バス始動。 町政施行40周年記念モニュメント「翔龍」製	2007	平成19年	愛別中学校校舎等改修工事完了。 愛別ライオンズクラブのCN30周年記念事業として交通安全指導車を寄贈。 愛別中学校開校60周年を記念して環境整備をおこない門柱を設置。 石北4商工会広域連携協議会を設立。 道道下川愛別線の一部区間路線変更。 愛別松声会設立50周年記念民謡発表会開催。 中里小学校開校110周年式典の実施。 愛別舞茸センター完成。 協和の里のもち工房「愛ふくふく」完成。 裁判員制度が開始される。
			2008	平成20年	町有飛行機「ムーニー号」が売却される。 愛別町学校統合検討委員会を設置。
			2009	平成21年	上川広域滞納整理機構が設立。 愛別町長選で矢部福二郎氏当選(七代)。 道北ドクターヘリ運行事業が開始される。

- 2010 平成22年 交通死亡事故ゼロ日数で1000日達成。
 旭川信用金庫愛別支店が役場庁舎へ移転。
 小学校閉校（愛山・中里・協和小学校）。
 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道「比布」
 C～丸瀬布IC」まで開通。
 23年継続開催していた「きのこの里フェス
 ティバル」を口蹄疫の関係により中止。
 「2010燻サミット in あいべつ」開催。
- 2011 平成23年 町制施行50周年。
 愛別高校閉校、61年の歴史に幕を閉じた。
 IP告知端末機による音声放送開始。
 地域情報通信基盤整備事業完成式。
 B&G海洋センターリニューアルオープン。
 共生型交流館「ぼんて」オープン。
 移動販売車「愛ちゃん号」運行開始。
 最後の「百田宗治祭」。
 自動車文庫「a i a i」車輻更新。
 愛別川に産卵のためにサケが52年ぶりに遡上
 しているのを確認。
- 2012 平成24年 町が四月に定年退職した愛別町出身の元大島
 部屋親方(大関旭國)に感謝状を贈る。
 北海道教育委員会で旧道立愛別高校校舎を活
 用した道立知的障害特別支援学校高等部の新
 設(平26年4月開校、2間口)決定。
 旧中里小学校に企業連合事業協同組合北海道
 講習センターが開校。
- 2013 平成25年 町長選で前佛秀幸氏当選（八代）
 ハッピーホーン500人記念式
- 2014 平成26年 北海道立美深高等養護学校あいべつ校開校。
 開拓120年を迎え、各種記念事業が行われる。
 カントリーサインが新しくなる。
 町営バスがデマンド運行に変更。